



ぽん・ホームリビングです。

平成23年 (2011年)
12月5日(月) 第1517号

発行所/©株式会社 アイク

発行人兼主幹/長島 貴好 発行日/旬刊・毎月3回 (5日・15日・25日)
一年間購読料[前納制]/21,000円(税込)・海外購読/40,000円(送料込)
本社・〒111-0032 東京都台東区浅草5丁目3-10 電話/営業 03-3872-8822
・編集 03-3872-8610・販売 03-3872-8745・総務 03-3872-8741・FAX 03-3872-8874, 03-3872-8785

<http://www.homeliving.co.jp> E-mail: aik@homeliving.co.jp (日本) oversea@homeliving.co.jp (Only for overseas)

日本専門新聞協会加盟紙 (昭和47年5月10日 第三種郵便物認可)

ホームリビング

家具とホームファニッシングの専門紙

THE HOME LIVING

【編集綱領】 公平・真実・指針

AMBIENTE VISION

アンビエンテ
ビジョン

Sample プロジェクト

《11》 サカイデザインアソシエイツ

酒井俊彦 代表取締役



——「sample」は除伐材や使われ

なかった自動車のシートレザーなどを素材に用いたiPhone/iPad関連の製品群ですが、始められたきっかけは。

酒井 最近の仕事のなかで、コストや納期などの比重が増え、デザイン自体に集中できないことが多かったんです。コストや納期が第一ではない仕事をして、うまくいく実例を示したいと思いました。

——コストや納期は常に課題では。

酒井 しっかり考えた企画を立ててものを作れば価格競争に走る必要はありません。し

かし、そこを省略してものを作り、価格を安くしようとするケースが多かった。デザインは付加価値ではなく、商品そのものです。そこを理解せず、デザイナーを入れてちょっと形を変えただけでは売れない。そうすると「価格を下げなければ」という話になるんです。

——では作っていく段階で重視されたのは。

酒井 仕事のなかで、シートレザーや除伐材が余っていることを知り、利用したいと考えました。ただ、いかにも再利用した感じではなく、普通の商品

として成立させたかった。デザインと生産の背景は切り離したいと考えました。

——12組のデザイナーの方が関わっていましたが、まとめるのは大変では。

酒井 僕から基本的なコンセプトを説明し、個々のデザイナーの方々とやりとりをして進めました。やると決めてから6ヵ月で製品化までに至りましたが、やりたいことがしっかり固まっていたからでしょう。作り始めてしまったら早いですよ。

——実際に生産されるメーカーの方の反応

はいかがでしたか。

酒井 楽しんで作ってくれたようです。こういう話は、メーカーもリスクを半分負ってやりましょう、という話が多いようですが、このプロジェクトではうちが全部責任を持って買い取っています。

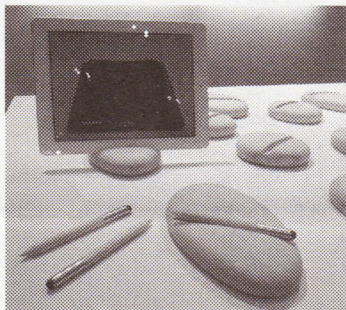
酒井 現在はネット販売のほか、リアル店舗では、1ヵ月ほど前からアシストオンというショップで販売を開始しました。来月からは玉川高島屋SCのアルキメデススパイラルで販売を開始し、来年はハンス、松屋銀座での催事が決まっています。

す。売り方の指定はしませんし、材料の在庫はありますから、ほかの販路も募集中です。

——今後の展開は。

酒井 今回のように余ったものを利用する企画のお話は複数いただいています。無理のない範囲で、長く続けていくつもりです。

(聞き手 江口記者)



「Calm trees」のiPadスタンドとタッチペン